

国際循環型社会形成と環境保全に関する専門委員会の 検討の方向性・スケジュール等について

1. 検討の方向性

- ・検討の当初に「我が国の廃棄物・リサイクル政策の経験」を総括し、その上で、アジア諸国において共有すべき、循環型社会の形成に向けて重要な要素を検討・整理する。
- ・その際、アジア諸国の廃棄物・リサイクル制度の実態は必ずしも十分に把握されていないことから、各国制度の実態を体系的に把握・整理する。
- ・アジア地域における廃棄物等の適正処理の確保については、その考え方を整理した上で、「ゴミゼロ国際化計画」の着実な実施の一環として、アジア諸国における循環型社会の形成、廃棄物等の違法な越境移動の防止等について、具体的な方策も含めて検討する。

2. 検討スケジュール

【スケジュールの大枠】

- ・専門委員会の開催は、毎月1回程度（11月～翌年1月まで）とし、2月時点で中間とりまとめを行い、廃・リ部会に報告・審議を行う。
- ・なお、2月の時点で結論が出ない分野が生じる場合には、中間取りまとめの中で論点整理を行い、別途次年度に審議を行う。

【スケジュール案】

第1回委員会（11月18日）

我が国の廃棄物等の現状（排出量・処分量等の整理）

我が国の廃棄物・リサイクル対策の取組（制度・予算面を中心）

- ・廃棄物処理制度の充実（排出者負担原則の徹底等）
- ・循環基本法、リサイクル法の整備（拡大生産者責任の位置付け等）
- ・地域と一体となった循環型社会づくりの取組（交付金制度等）

11月下旬(11月25日)

第2回委員会

- 我が国の廃棄物・リサイクル対策の取組(様々な事案への対応)
- ・不法投棄や有害物質の流出防止のための取組(PCB対策等)
 - ・海外への廃棄物等の輸出に対する問題(フィリピン、中国等)
- (バーゼル事務局桑原事務局長との意見交換)

12月

第3回委員会

廃棄物等の国際的な移動の現状

- ・アジアにおける廃棄物等の国際的な移動の状況(移動量等)
- ・循環資源の国際的な移動に関する制度・原則等の整理

アジアにおける適正な資源循環を確保するための各国の制度・取組の整理(中国、韓国、ベトナム等の制度を体系的に整理)

循環資源の国際的な移動をめぐる課題

- ・E-Wasteやペットボトル等、廃棄物等の品目ごとの課題(輸出量の増加等に合わせて整理)
- ・途上国における制度実施を行う上での問題点(実施の不確実性、人材の不足等)

1月

第4回委員会

廃棄物等を含む循環資源の国際的な移動に対する考え方について
アジア諸国間における今後の具体的な取組方策について

アジア地域における循環型社会形成に向けた取組について

- ・各国の特徴を活かしつつ、国際的に循環型社会形成のための基盤を充実するための方策について(キャパシティ・ビルディングや廃棄物等の適正処理研究ネットワーク等)

違法な廃棄物等の越境移動等を防止するための取組について

- ・廃棄物等の国際的な移動による汚染を防止するための方策について(トレーサビリティ制度、不法輸出入防止ネットワーク等)

2月

第5回委員会

【報告書(中間)とりまとめ】

- ・以上の議論を踏まえた(中間)とりまとめ案の審議
中環審廃・リ部会に報告

3月

3Rイニシアティブ高級事務レベル会合にて活用

- ・骨子を高級事務レベル会合に報告 議長サマリーで位置付け